EL PUENTE

タイトルデザイン　佐藤良助氏

エル　プエンテ（橋）　　秦野市立図書館報　　No.40　　2014．2

特 集　秦野市のブックスタート　ご存知ですか?

ブックスタートとは

まだ、言葉もよくわからない赤ちゃんでも、絵本は大好きです！絵をみたり、読んでくれる人の声に耳をすませたり。そんな赤ちゃんの表情を見たら、もっと絵本を読んであげたくなります。

ブックスタートは、赤ちゃんと絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡し、心のふれあうひとときを持つ、きっかけをつくりたいという活動です。秦野市では、地域のみなさんと協力して実施しています。

“Ｓｈａｒｅ　ｂｏｏｋｓ　ｗｉｔｈ　ｙｏｕｒ　ｂａｂｙ！”（赤ちゃんと絵本を介して楽しいひと時を分かち合おう）とのキャッチフレーズとともに、ブックスタートは、1992 年、英国で始まりました。

日本では、２０００年の「子ども読書年」に紹介され、２００１年から各市町村で、少しづつ、活動が始まりました。

秦野市では、２００８年の 12 月から、保健福祉センターにおいて、７カ月健診のときに行っています。今年で、６年目となりました。

たくさんの応援団

秦野市のブックスタートには、多くの方のご協力があります。
ブックスタートの当日、ボランティアで、実際にお話をしてくださる方々・受付の方、また、表に出なくても、寄付という形でご協力いただいている団体の方々。多くの方が、赤ちゃんのすこやかな成長を願っています。

実際にブックスタートの会場で、読み聞かせを担当していただいている方に、コメントをいただきました。

人生のスタートにブックスタート

おはなしころりん　斎藤由佳里

私たちは、ブックスタートに携われることを、とても幸せに思っています。そして、その役割の一端を担っていることを、とても大切に考えています。

これまで会として、30 年にわたり幼稚園や小学校などでおはなし会を行い、子どもたちに絵本やおはなしを届けてきました。それに加え３年前から、７か月児健診におけるブックスタートにより、多くの方に絵本の楽しさを伝えることができるようになりました。子どもたちの人生の早い段階で、まわりの大人の方たちに直接働きかけることができる、とても貴重な機会だと思っています。

実際、食い入るように絵本に集中するあかちゃんの反応に驚かれる親御さんも多く、各地区のおはなし会にも、あかちゃん連れでお見えになる方が増えました。図書館で絵本を選ぶ親子の姿も、以前よりも多く見かけます。様々な機会に、積み重ねてきた成果を感じるようになりました。こうして楽しさを実感していただくことが、読書の習慣につながり、生きていく上での大きな力になってくれると信じています。

これからも、ブックスタートのお手伝いを継続できるよう、研修に力を入れ、会員でもある“子育てアドバイザー”の方を中心に、人材の育成に取り組んでいきます。子どもたちの健やかな成長の源である「家族の絆」。その幸せな時間の一助となれるよう、引き続き、関係する部署の方々と協力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

十全堂株式会社さん

：コットンバッグのご提供

お持ち帰りバッグ、その後は、図書館への通いバッグに使えます。

リニューアル後

いままでに
協賛金をご提供いただいた団体　（敬称略）

☆国際ソロプチミスト秦野
☆秦野市農業協同組合
☆秦野市薬剤師会（特定非営利活動法人）
☆秦野あづまライオンズクラブ
☆秦野丹沢ライオンズクラブ
☆秦野中ロータリークラブ
☆秦野名水ロータリークラブ
☆秦野ライオンズクラブ
☆秦野ロータリークラブ
（５０音順）

ブックスタートを受けて

ブックスタートの様子について、少し紹介します。

平成２４年度は、健診の対象者が、１，２４６人に対し、１，１９４人の赤ちゃんにご参加いただきました。

健診が、平日に開催されるため、多くはお母さんとの参加なのですが、お父さんやお兄ちゃんお姉ちゃん、ご家族で来られる方もいらっしゃいます。

会場では、健診を終了してから、ブックスタートに参加していただいています。

ブックスタート・ボランティアさんから、まず、ブックスタートについて簡単に説明を受けます。

それから、絵本の読み聞かせをしますので、赤ちゃんと一緒に楽しみながら、絵本のある幸せな時間を体験していただきます。

絵本を読んでもらうと、それまでの健診で疲れて、お腹もすいて泣いていた赤ちゃんが、笑顔になることもあります。

ブックスタートでは、毎回アンケートを行っていますが、良かったという感想を多くいただいています。

その中から、いくつかを紹介いたします。

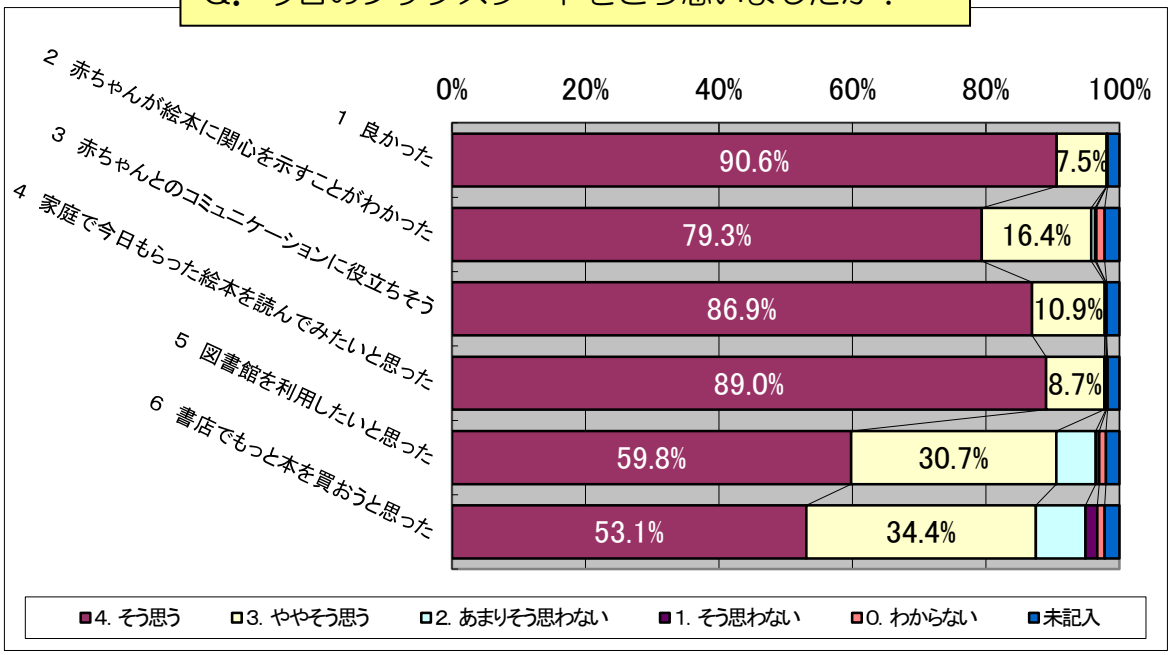
★初めて絵本の読みきかせをしていただきました。とっても興味深そうにしていたのに驚きました。是非、この機会に始めてみたいです。どうもありがとうございました。

★家でも絵本をみせていたが、ブックスタートでよみきかせをしていただいて、じっくり絵本にみいっている子供の姿をみれてよかったです。

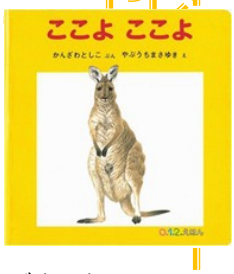
★読みきかせのお手本をみせてもらえて参考にしたいと思った。読みきかせをはじめるきっかけになると思った。

ブックスタートでは、子供と絵本を楽しむきっかけをつくるお手伝いができればと考えています。

Q. 今日のブックスタートをどう思いましたか？



※ブックスタートで読み聞かせを担当されているボランティアさんは、赤ちゃんについての研修等を受講されています。

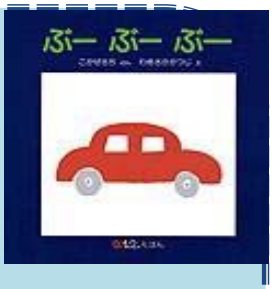


「ここよ　ここよ」
かんざわ　としこ／ぶん
やぶうち　まさゆき／え
福音館書店　２００３年刊
　「どこにいるの？」と呼びかけると『ここよここよ』と赤ちゃんが顔を出します。
コアラ、ラッコ、ペンギン…
生き生きと描かれた、動物のお母さんと赤ちゃんが登場します。

「くだもの」（幼児絵本シリーズ）
　平山和子／さく
　福音館書店　　１９８１年刊
　本物そっくりに描かれたくだものの姿と、食べられるようになったくだものの姿。すいか、もも、ぶどう、いちご、ばなな…など。
　迫力のある絵で、すぐにでも、くだものを食べたくなります。

赤ちゃんに おすすめのえほん

図書館では、赤ちゃんでも、本を借りることができます！



「ぶーぶーぶー」
こかぜ　さち／ぶん
わきさか　かつじ／え
福音館書店　　2007 年刊
　あか、あお、きいろ、みどりの自動車。ぶーぶーぶー、ぷーぷーぷー、ぱっぱっぱっ、ぷっぷっぷっ、みんな違う音を鳴らしながら走ってきます。すると、……。

「がたんごとんがたんごとん」
安西水丸／さく
福音館書店　1987 年刊
　「がたんごとんがたんごとん」と走る汽車に、哺乳びん、コップとスプーンリンゴとバナナ、ネコさんとネズミさんが次々乗り込みます。
　シンプルな絵と繰り返される言葉のリズムは、赤ちゃんの興味を引きます。

EL　PUENTE　秦野市立図書館報　　№４０
発 行 日　2014 年（平成 26 年）２月１日
編集発行　〒257-0015 秦野市平沢 94-1　電話 0463-81-7012
秦 野 市 立 図 書 館